

7月20日（金）A会場（5階 ライフホール）

会長挨拶

8:55～

黒岩 敏彦（大阪医科大学脳神経外科 教授）

シンポジウム1 急性期意識障害の診断・治療

9:00～10:10

座長：藤木 稔（大分大学医学部脳神経外科 教授）  
奥寺 敬（富山大学危機管理医学講座 教授）

S1 基調講演

救急現場における意識障害治療の問題点

ほしやま えいせい  
星山 栄成（獨協医科大学神経内科、獨協医科大学救命救急センター）

S1 基調講演

蘇生と遷延性意識障害

こばた ひとし  
小畑 仁司（大阪府三島救命救急センター）

S1-1 急性期の意識障害評価法の有用性

なら こ  
奈良かな子（富山大学大学院医学薬学教育部 危機管理医学・医療安全学講座）

S1-2 急性期意識障害の診断と治療におけるプロトコールとトリアージの重要性

うえだ たかし  
上田 孝（医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 脳神経外科）

S1-3 血腫形成型くも膜下出血の臨床的特徴と予後予測因子

ねもと まさあき  
根本 匡章（東邦大学医療センター佐倉病院）

S1-4 下垂体・視床下部障害を伴う意識障害例の特徴と問題点

おしの さとる  
押野 悟（大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学）

教育講演 遷延性意識障害の治療・看護の現状と今後の展望

10:10～12:10

座長：高橋 弘（医療法人景雲会春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 総院長）  
難波 宏樹（浜松医科大学脳神経外科 教授）

EL-1 刺激療法

もりた いさお  
森田 功（藤田保健衛生大学 脳神経外科 教授、意識障害回復センター）

EL-2 高次脳機能障害のリハビリテーション

おおさわ あいこ  
大沢 愛子 (国立研究開発法人 国立長寿医療センター リハビリテーション科 医長)

EL-3 音楽療法 イタリアとスペインにおける音楽療法と音楽運動療法活動について

の だ りょう  
野田 療 (大阪芸術大学 芸術学部 初等芸術教育学科 教授)

EL-4 遷延性意識障害の看護のベストプラクティスの現状と課題

ひだかきくえ  
日高紀久江 (筑波大学 医学医療系 教授)

ランチョンセミナー1

12:15~13:15

座長：吉峰 俊樹 (大阪大学国際医工情報センター臨床神経医工学寄付研究部門)

共催：日本特殊陶業株式会社

LS1-1 術後整容に重点をおいた硬化型人工骨による頭蓋形成

ふじしろ たかひろ  
藤城 高広 (医療法人東和会第一東和会病院脳神経外科)

LS1-2 認知症と生きるということ

いわた まこと  
岩田 誠 (メディカルクリニック柿の木坂 院長)

会員報告

13:20~13:30

特別企画1 遷延性意識障害患者医療・ケアの世界の趨勢と本邦の現状 13:30~14:30

座長：田宮 隆 (香川大学医学部脳神経外科 教授)

森田 功 (藤田保健衛生大学脳神経外科 教授)

SP1-1 遷延性意識障害者とその家族が歩いてきた道

くわやま ゆうじ  
桑山 雄次 (全国遷延性意識障害者・家族の会 代表)

SP1-2 舌の反応による遷延性意識障害の妻とのコミュニケーション

おくだ あつゆき  
奥田 篤行 (全国遷延性意識障害者・家族の会九州「つくし」)

SP1-3 The Akogo? Foundation – 15 years. From scratch to clinic.

Ewa Blazcyk (The Akogo? Foundation)

**特別講演 1**

14:30~15:15

座長：神野 哲夫（ジャパン藤脳クリニック 名誉院長）

**SL1 Cooperation with Non-governmental Organizations (NGO) for the clinical experimental research on Minimally Conscious State patients treatment.**

Wojciech Maksymowicz (Department of Neurosurgery University of Varmia and Mazury in Olsztyn)

**特別企画 2 意識・意識障害の定義**

15:15~17:35

座長：片山 容一（青森大学脳研・青森新都市病院 総長）

竹内 栄一（京都リハビリテーション病院 名誉院長）

**SP2-1 哲学者の立場から**<sup>やまたけ</sup>山竹 <sup>しんじ</sup>伸二（大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター 客員研究員）**SP2-2 心理学の立場から**<sup>わたなべ</sup>渡邊 <sup>かつみ</sup>克巳（早稲田大学 理工学術院 教授）**SP2-3 精神科医の立場から**<sup>よねだ</sup>米田 <sup>ひろし</sup>博（大阪医科大学神経精神医学教室 教授）**SP2-4 意識障害とは何か：脳神経外科医の立場から**<sup>かたやま</sup>片山 <sup>よういち</sup>容一（青森大学 脳研・青森新都市病院 総長）

一般演題1 意識・意識障害の診断・モニタリング

9:00~10:05

座長：岩淵 聡（東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科 教授）  
栗栖 薫（広島大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経外科学 教授）

O1-1 SPECT検査を安全に行う為のモニタリングシステム  
～意識障害患者への応用～

ひらた だいご  
平田 大悟（医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 放射線部）

O1-2 遷延性意識障害患者の $H_2^{15}O$ -PETと $^{99m}Tc$ -ECD-SPECTの比較検討

やまだ ゆういち  
山田 裕一（木沢記念病院・中部療護センター 放射線技術部、  
岐阜大学医学部連携大学院 脳病態解析学分野）

O1-3 長期リハビリ後に高次脳機能障害の再評価とフルマゼニールPETを行った  
2例の検討

はたけやま てつひろ  
畠山 哲宗（香川大学 医学部 脳神経外科）

O1-4 重症頭部外傷後遺症患者に伴う外傷性嗅覚障害の診断

やまき ともひろ  
八巻 智洋（千葉療護センター 脳神経外科）

O1-5 特発性正常圧水頭症における認知障害の評価法について

たかやま さちよ  
高山 幸芳（日本医科大学 武蔵小杉病院 言語療法室）

O1-6 特発性正常圧水頭症の治療前後における睡眠の変化

にしだな みこ  
西田南海子（田附興風会 北野病院 脳神経外科）

O1-7 意識障害を伴う重症脳脊髄液減少症の管理に頭蓋内圧モニターは有用である

ふじた こうじ  
藤田 浩二（和歌山県立医科大学 医学部 脳神経外科、  
和歌山県立医科大学 医学部 救急集中治療医学）

O1-8 外傷性遷延性意識障害患者の体重変動に関する因子の検討

あびこ はるか  
安彦 明香（一般財団法人 広南会 広南病院 栄養管理部）

シンポジウム2 慢性期意識障害の診断・治療

10:05~11:25

座長：篠田 淳 (木沢記念病院中部療護センター センター長)  
平山 晃康 (日本大学医学部脳神経外科 教授)

S2 基調講演

慢性期意識障害の画像診断

<sup>しのだ</sup> 篠田 <sup>じゅん</sup> 淳 (木沢記念病院・中部療護センター / 岐阜大学連携大学院脳病態解析学分野)

S2 基調講演

意識障害とてんかん発作； 臨床像とリアルタイムモニタリングの進歩

<sup>ながやま</sup> 永山 <sup>まさお</sup> 正雄 (国際医療福祉大学医学研究科 神経内科学)

S2-1 遷延性意識障害症例に対する経頭蓋直流電気刺激を用いた治療介入  
— 仮説とメカニズム —

<sup>かわしま</sup> 河島 <sup>のりたか</sup> 則天 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所 運動機能系障害研究部)

S2-2 脳機能的結合解析による重症頭部外傷後遷延性意識障害慢性期予後改善  
因子検出の試み

<sup>いけがめ</sup> 池亀 <sup>ゆか</sup> 由香 (木沢記念病院・中部療護センター)

S2-3 NASVA スコアに対する Rasch 分析

<sup>こんどう</sup> 近藤 <sup>いずみ</sup> 和泉 (国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター)

S2-4 遷延性意識障害患者の意思疎通グレーディング評価と脳糖代謝

<sup>うさみのりこ</sup> 宇佐見希子 (木沢記念病院・中部療護センター)

S2-5 誤嚥性肺炎により痙攣重積発作を呈した重度脳損傷患者の治療経験より

<sup>すずき</sup> 鈴木 <sup>さとし</sup> 聡 (社会医療法人ささき会 藍の都脳神経外科病院 脳神経外科)

ランチョンセミナー2

12:15~13:15

座長：大熊 洋揮 (弘前大学医学部脳神経外科 教授)

共催：第一三共株式会社

LS2 心原性脳塞栓症の予防と急性期治療

<sup>やまがみ</sup> 山上 <sup>ひろし</sup> 宏 (国立循環器病センター 脳卒中治療科 医長)

### シンポジウム3 意識障害看護ケア

15:15～16:40

座長：西山 裕子（大阪医科大学附属病院看護部 看護部長）  
眞野 恵子（藤田保健衛生大学病院看護部 看護部長）

#### S3 基調講演

##### 脳卒中に伴う意識障害に対する看護ケア

ひやくた たけし  
百田 武司（日本赤十字広島看護大学 老年看護学領域）

##### S3-1 一貫型症例研究委託病床における看護ケアアプローチの取り組み報告

あまの ちえ  
天野 千笑（藤田保健衛生大学病院）

##### S3-2 入院中の遷延性意識障害患者の口腔衛生状態

やすだ じゅんいち  
安田 順一（朝日大学 歯学部 口腔病態医療学講座 障害者歯科学分野）

##### S3-3 急性期脳卒中患者に対する口腔機能訓練がもたらす意識障害への影響

まつもと ゆか  
松本 由香（大阪医科大学附属病院 脳神経外科病棟）

##### S3-4 意識障害患者に対するスポーツ飲料、野菜ジュース、調整豆乳投与の検討

ひらいでさ やか  
平出紗也香（帝京大学医学部附属溝口病院 3階病棟看護師）

##### S3-5 頭部外傷後遷延性意識障害～重度高次脳機能障害患者に対する看護師の困難感

まさおか まゆ  
柁岡 麻由（独立行政法人 自動車対策機構 岡山療護センター 看護部）

##### S3-6 アクションカードを用いた訓練の実際と防災の備え

くどう ようこ  
工藤 陽子（東北療護センター 看護部）

##### S3-7 意識障害患者に対するクーリング方法とその意義の検討

たかはし あやか  
高橋 彩香（帝京大学医学部附属溝口病院 3階病棟看護師）

### 一般演題2 看護ケア (2)

16:40～17:20

座長：早坂たけみ（一般財団法人広南会広南病院看護部 看護部長）  
相原 晶子（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院看護部 看護部長）

##### O2-1 脳卒中患者の発する信号について ～看護の気づきを振り返る～

きむら みゆき  
木村 美幸（医療法人 橘会 東住吉森本病院）

- O2-2 意識障害に対する音楽療法  
「個に沿う」アプローチが情動反応を引き起こした一例  
なかむら ゆ み こ  
中村裕美子（第一東和会病院 リハビリテーション科）
- O2-3 遷延性意識障害者を在宅で7年間ケアした家族の取組の報告  
こうしゅう ゆう  
甲州 優（東都医療大学 ヒューマンケア学部 看護学科）
- O2-4 経鼻胃管の固定方法変更とアンケート調査からの検討  
～身体拘束解除にむけて～  
こばやし かおり  
小林 香織（社会医療法人 医仁会 中村記念南病院）
- O2-5 重度意識障害患者の経口摂取開始にむけた介入の一事例  
おかもと あいみ  
岡本 愛弥（藤田保健衛生大学病院 看護部）

7月20日(金) C会場 (5階 会議室501～503)

一般演題3 看護ケア (1)

9:00～9:50

座長：角丸 圭子 (中村記念病院 看護本部長)

武田 保江 (目白大学看護学部 教授・日本脳神経看護研究学会 理事長)

O3-1 背面開放座位及び車椅子乗車により開眼時間の延長が得られた一例

<sup>くろき ゆみ</sup>  
黒木 由美 (大阪医科大学附属病院 看護部)

O3-2 筋緊張緩和への取り組み

<sup>おおにし ひろこ</sup>  
大西 弘子 (木沢記念病院・中部療護センター)

O3-3 筋緊張緩和ケアによる頸部可動域の向上及び意志表出に向けた取り組み

<sup>めぐみ ゆうか</sup>  
恵 有香 (木沢記念病院・中部療護センター)

O3-4 脳神経疾患患者の膀胱留置カテーテルに関連した排尿障害への援助  
ー早期介入した症例ー

<sup>さとう いずみ</sup>  
佐藤 泉 (香川大学医学部附属病院 看護部)

O3-5 脳卒中後遺症による排便コントロールの取り組み  
～用手微振動を用いた便秘改善方法～

<sup>たじま さちこ</sup>  
田島 幸子 (横浜新都市脳神経外科病院)

O3-6 軽度意識障害患者の膀胱内尿量と尿意の関係を考慮した排尿誘導の試み

<sup>やました かずみ</sup>  
山下 和美 (東邦大学医療センター大橋病院 看護部)

一般演題4 チーム医療、看護プログラム

9:50～10:30

座長：百田 武司 (日本赤十字広島看護大学老年看護学領域 教授)

O4-1 家族を含めたチーム医療の重要性～あきらめない看護～

<sup>ひらやま やすこ</sup>  
平山 康子 (医療法人健裕会 永富脳神経外科病院)

O4-2 長期療養における意識障害患者の家族の心情に寄り添う看護

<sup>かとう ゆきみ</sup>  
加藤 幸美 (社会医療法人 医仁会 中村記念病院 9階病棟)

O4-3 頭部外傷後遺症のある患者の生活改善を見据えたアプローチ

<sup>まつうら あき</sup>  
松浦 亜希 (社会医療法人 医仁会 中村記念病院 看護部)



O4-4 “NICD” その人間愛に満ちた看護プログラムケア  
～自己表出が回復した症例について～  
おおつか きよみ  
大塚 清美 (医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 看護部)

O4-5 意識障害者へのチームで取り組んだUEDAメソッドの応用  
せき みわ  
碩 美和 (医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 看護部)

一般演題5 急性期血管障害：症例報告

10:30～11:35

座長：石川 達哉 (秋田県立脳血管研究センター センター長)  
上田 孝 (医療法人社団孝尋会上田脳神経外科 理事長)

O5-1 入院翌日に急激な意識障害を認めた両側頸動脈狭窄症の1症例  
ひらまつ りょう  
平松 亮 (大阪医科大学 脳神経外科・脳血管内治療科)

O5-2 重篤な意識障害で発症した遺残三叉動脈を有した内頸動脈閉塞症の1例  
おおにし ひろゆき  
大西 宏之 (大西脳神経外科病院 脳神経外科)

O5-3 脳室内出血後48時間以降に意識障害増悪で発症した遅発性閉塞性水頭症の2症例の検討  
ふたむら げん  
二村 元 (交野病院 脳神経外科)

O5-4 外傷性くも膜下出血の保存的加療中に脳内出血で発症した中硬膜動脈仮性動脈瘤の一例  
きむら せいご  
木村 誠吾 (弘善会 矢木脳神経外科病院)

O5-5 急激な意識障害を呈した横静脈洞硬膜動静脈瘻の1例  
ふじた さとし  
藤田 聡 (東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科)

O5-6 当院における高齢者の急性期血栓回収療法の治療成績  
あんどう しゅんぺい  
安藤 俊平 (東邦大学 医学部 医学科 脳神経外科学講座 (大森))

O5-7 当院における脳底動脈閉塞症に対する血管内治療の経験  
やぎ りょうきち  
矢木 亮吉 (大阪医科大学 脳神経外科・脳血管内治療科)

O5-8 頭蓋形成術後に脳腫脹・脳出血が生じた2症例  
おおむら なおき  
大村 直己 (暁生会脳神経外科/交野病院 脳神経外科、交野病院 脳神経外科)